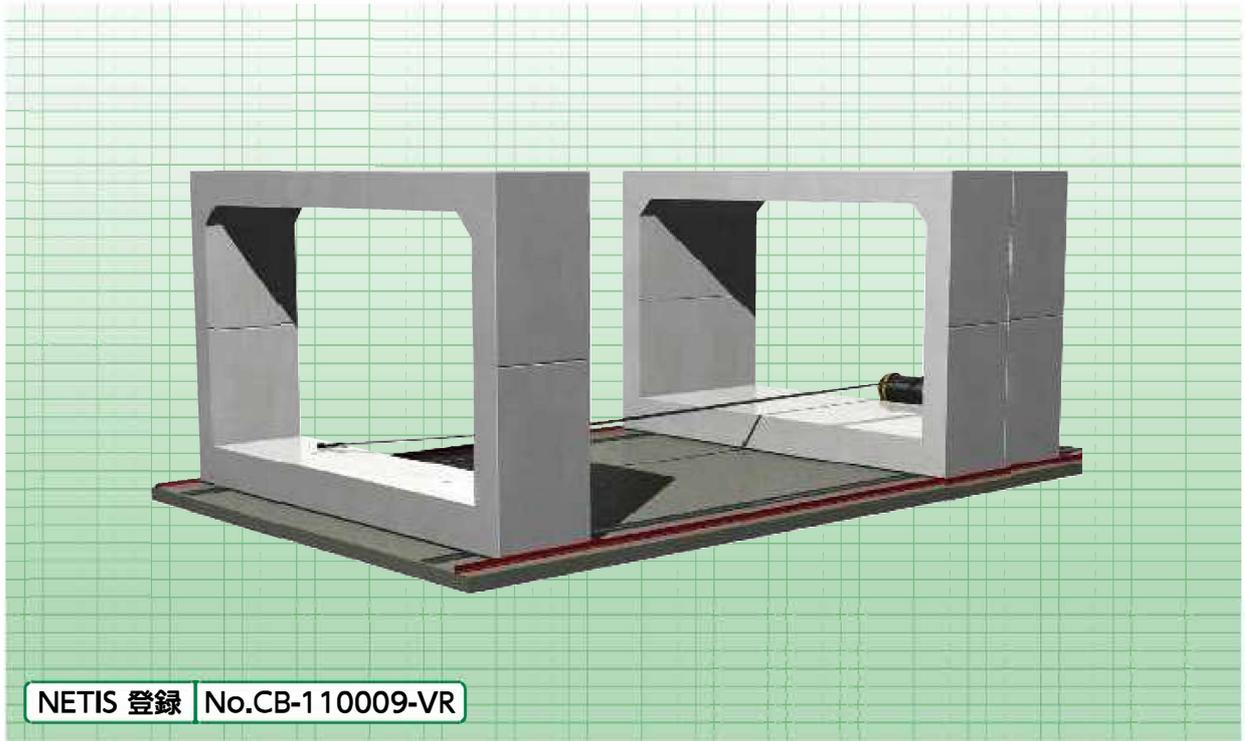


鋼球&ウインチによる横引き工法

SBC工法



特長及び適用範囲

- 基礎コンクリートにレールを埋設し、鋼球とウインチ等によりコンクリート二次製品を牽引して滑走移動させる工法です。
- クレーンでの据付が直接できない市街地および道路・鉄道等の高架下、また、仮設道路が設置できない場所においてもスムーズに据付作業が行えます。
- 製品の吊り降ろしは、クレーンを移動する必要がありません。
- 大重量の大型製品であっても、レールと鋼球のベアリング効果で、小さな力で移動することが可能です。
- ボックスカルバートをはじめ、L型擁壁やフリームなど、基礎コンクリートを伴う製品の敷設に利用できます。

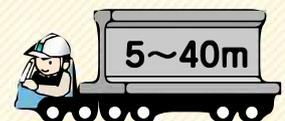
コンクリートのお話

技術・工法

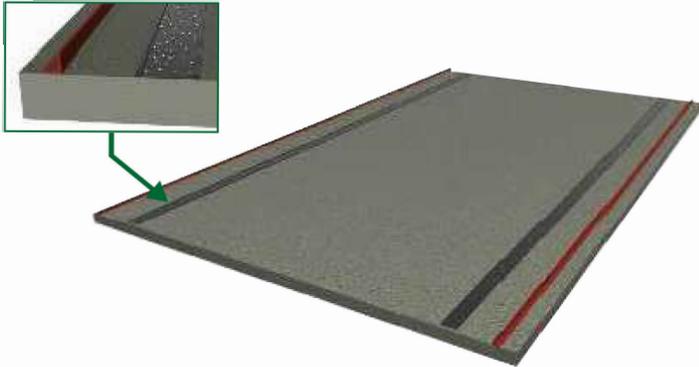


プレキャスト工法

プレキャストとは、「前もってまとめあげられた」という意味。工場などでつくったPC桁をトレーラーなどで運搬し、橋の上部工に架設する工法。桁の大きさは支間5m～40m程度。新幹線などでは支間50m(箱桁:300tf)のものが使われることがあります。橋脚の工事と桁の製作を並行して進められるので、工期の短縮につながります。
(橋 たがたがおまじす講本)



施工手順



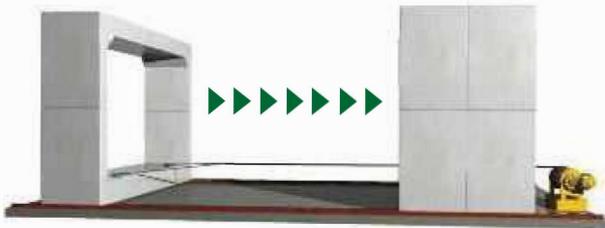
1 基礎工

頂点部及び底版部にコンクリートを打設し、完了。



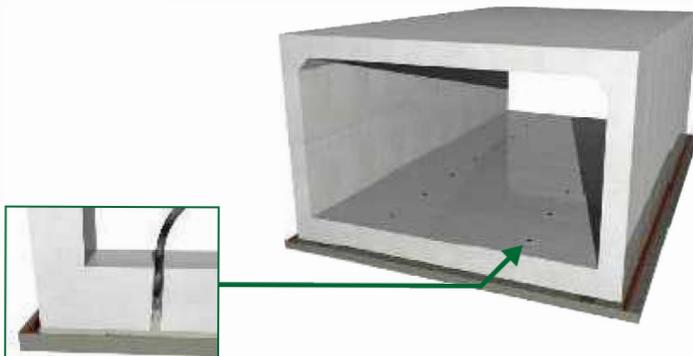
2 コンクリート二次製品の搬入・設置

レール上に製品を吊りおろし、設置する。



3 引き寄せ

ウインチ等で引き寄せを行う。



4 グラウト工

製品の注入孔より、基礎コンクリートと製品の間隙にグラウト注入を行う。

施工ガイド SBC工法

SBC工法

ウインチ規格表

製品重量	規格
10t未満	1.0t
10t以上～15t未満	2.0t
15t以上～20t未満	3.0t

※ウインチはインバーター付の使用を推奨します。

※上表以外の規格についてはご相談ください。

参考歩掛(製品重量8t～10t)

(施工延長10m当り)

製品長 (mm)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン (日)	ウインチ (日)	諸経費 (%)	1日当り施工延長 (m)
1,000	1.4	4.1	3.8	1.1	1.1	2.0	9.0
1,500	0.9	2.7	2.3	0.8	0.8	2.0	12.5
2,000	0.6	1.8	1.6	0.5	0.5	1.0	20.0

※製品間をPC鋼材等で連結する場合は別途ご相談ください。

※PC鋼材、定着金具、基礎レール、製品ガイド、鋼球、基礎グラウト材は別途計上してください。

※上記以外の規格についてはお問い合わせください。

施工状況

